多国籍企業の研究開発に関するアンケート調査

＊本調査における研究開発には設計を含みます。

F1：貴拠点の所在地を記入してください。

国名		都市名	

F2：貴拠点の業種を下記の選択肢から一つ選び、その番号に○をつけて下さい。

１．電気機器	２．輸送用機器	３．化学	４．医薬品
５．一般機械	６．精密機器	７．情報・通信	８．その他（　　）

F3：下記の選択肢の中から貴拠点の主な研究開発業務をすべて選択し、該当する番号に○をつけて下さい。複数選択した場合には、主な業務一つに◎をつけ、**次頁からの設問には、◎をつけた業務を念頭においてお答えください。**

１．研究	２．開発	３．設計	４．その他 （　　）

F4：貴拠点の今年(2013 年)3 月 31 日時点の従業員数及びその内訳について、おおよその人数を記入して下さい。ただし、該当者がいない場合は、「0」を記入して下さい。**本調査では、「(海外）派遣」は、所属先に関係なく３ヶ月以上海外に滞在した場合を指します。**

拠点の従業員総数	人
うち研究開発者数（国籍・採用地を問わない）	人
うち日本から派遣されている研究開発者数	人
うち日本へ派遣中の研究開発者数	人

F5：貴拠点の設立された年と現在の拠点代表者（経営トップ）の国籍を記入して下さい。

設立年	年	代表者国籍	

F6：貴拠点の年間研究開発費（2013 年度実績）を記入して下さい。

米ドル

F7：貴拠点の研究開発者の年間離職率（過去 3 年間の平均）を記入して下さい。

約　　%

Q１：貴拠点の役割について、以下の項目のうち、あてはまるものには○、あてはまらないものには×を回答欄に記入してください。

項目	回答欄
① 現地の市場ニーズをとらえる	
② 現地の技術情報や研究のシーズを探索する	
③ 先端的研究や先行研究を行う	
④ 現地における政府や標準化委員会等への対応を行う	
⑤ 現地で、サプライヤー、共同研究先、提携先を探索する	
⑥ 現地向け製品について、拠点単独で研究開発プロセスのほぼすべてを担う	
⑦ 現地向け製品について、研究開発プロセスの一部を拠点単独で担う	
⑧ 日本/グローバル向け製品について、拠点単独で研究開発プロセスのほぼすべてを担う	
⑨ 日本/グローバル向け製品について、研究開発プロセスの一部を拠点単独で担う	
⑩ 日本の研究開発者と一緒に拠点横断的なプロジェクト・チームを形成し、研究開発を共同で行う	

Q2：貴拠点は、以下の各項目についてどの程度の裁量がありますか。裁量の程度を項目ごとに５段階（貴拠点の裁量が、ない＝１、あまりない=２、どちらともいえない＝３、ややある＝４、ある＝５）から一つ選択し、該当する番号に○をつけて下さい。

	裁量がない 1・・・	2・・・	3・・・	4・・・	裁量がある 5
① 研究開発の業務計画の策定	1	2	3	4	5
② 研究開発予算の策定および収益管理	1	2	3	4	5
③ 研究開発者の採用方針や基準の決定	1	2	3	4	5
④ 研究開発者の育成の方針決定や実施	1	2	3	4	5
⑤ 研究開発者の人事評価・処遇の方針決定や運用	1	2	3	4	5
⑥ 技術情報・研究シーズの探索	1	2	3	4	5
⑦ 現地向け製品の仕様決定	1	2	3	4	5
⑧ 研究開発テーマ・プロジェクトの策定	1	2	3	4	5
⑨ 研究開発の方法の決定	1	2	3	4	5
⑩ 現地サプライヤー、提携先、共同研究先の選定	1	2	3	4	5
⑪ 他の海外拠点との連携の実施	1	2	3	4	5

Q3：日本の研究開発拠点との間で、一年間にどのくらいの頻度で知識・技術等の伝達や移転を行っていますか。「日本から貴拠点へ」と「貴拠点から日本へ」に分けて、下記の各項目ごとに、あてはまる頻度の番号一つに○をつけて下さい。

	日本から貴拠点へ			貴拠点から日本へ		
	全くない	たまにある	よくある（月１以上）	全くない	たまにある	よくある（月１以上）
① 研究開発戦略・方針	1	2	3	1	2	3
② 市場の製品・技術ニーズ	1	2	3	1	2	3
③ 社内の製品仕様や品質基準	1	2	3	1	2	3
④ 会社独自の研究開発方法	1	2	3	1	2	3
⑤ 研究開発内容にかかわる知識・技術	1	2	3	1	2	3
⑥ 社外から吸収した知識・技術	1	2	3	1	2	3
⑦ 研究開発の進捗状況	1	2	3	1	2	3
⑧ 法規・世界標準	1	2	3	1	2	3
⑨ 研究開発者に関する情報	1	2	3	1	2	3
⑩ 新製品・技術に関する市場評価	1	2	3	1	2	3

Q4：日本との間で、下記の①～⑩の伝達や移転を行うために、(a)~(d)の方法を利用していますか。項目ごとに利用している方法には○、利用していない方法には×を記入して下さい。ただし、伝達や移転が行われていない項目については、(a)~(d)のすべてに×を記入して下さい。

項目	日本への派遣（３ヶ月以上）(a)	日本への出張（３ヶ月未満）(b)	TV 会議・Skype・電話 (c)	E メール・社内文書 (d)
① 研究開発戦略・方針				
② 市場の製品・技術ニーズ				
③ 社内の製品仕様や品質基準				
④ 会社独自の研究開発方法				
⑤ 研究開発内容にかかわる知識・技術				
⑥ 社外から吸収した知識・技術				
⑦ 研究開発の進捗状況				
⑧ 法規・世界標準				
⑨ 研究開発者に関する情報				
⑩ 新製品・技術に関する市場評価				

Q5：日本以外の拠点との間で、以下の各項目について伝達や移転を行っている場合には、相手方の海外拠点が立地する国の名前を記入してください。また、伝達や移転を行っていない場合には×を記入してください。

	貴拠点から他の海外拠点	他の海外拠点から貴拠点
① 研究開発戦略・方針		
② 市場の製品・技術ニーズ		
③ 社内の製品仕様や品質基準		
④ 会社独自の研究開発方法		
⑤ 研究開発内容にかかわる知識・技術		
⑥ 社外から吸収した知識・技術		
⑦ 研究開発の進捗状況		
⑧ 法規・世界標準		
⑨ 研究開発者に関する情報		
⑩ 新製品・技術に関する市場評価		

Q6：社外から現地の知識・技術を吸収するために貴拠点では以下の方法をどの程度活用していますか。各項目についてあてはまる活用度（活用していない＝１、あまり活用していない＝２、どちらともいえない＝３、やや活用している＝４、活用している＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	活用していない 1・・	2・・	3・・	4・・	活用している 5
① 現地の大学・研究機関との情報交換、提携、共同研究	1	2	3	4	5
② 現地にある他社との情報交換、提携、共同研究	1	2	3	4	5
③ 他社からの技術の購入	1	2	3	4	5
④ 研究開発者の現地ローカル・ネットワークの活用	1	2	3	4	5
⑤ 現地研究開発者の採用	1	2	3	4	5
⑥ 現地の大学から学生をインターンとして受入	1	2	3	4	5

Q7：研究開発者の海外派遣（所属先に関係なく３ヶ月以上の滞在）の頻度について、「日本から貴拠点」、「貴拠点から日本」に分けて、該当する番号に○をつけて下さい。

	全く実施していない	必要に応じて実施	常に実施
① 日本から貴拠点	1	2	3
② 貴拠点から日本	1	2	3

Q8：**Q7 の①で、実施していると回答（２または３を選択）した企業にのみお尋ねします。**日本から貴拠点に研究開発者を受け入れる理由について、以下の項目はどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる番号（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、その番号に○をつけて下さい。

日本から貴拠点に受け入れる理由	該当しない １‥‥‥	２‥‥‥	３‥‥‥	４‥‥‥	該当する ５
① 日本から貴拠点へ技術を移転するため	1	2	3	4	5
② 日本の研究開発・人材マネジメントの方法を貴拠点に移転するため	1	2	3	4	5
③ 貴拠点及びその地域の技術を学び日本へ移転するため	1	2	3	4	5
④ 貴拠点のある地域の市場情報を収集し、それを日本に移転するため	1	2	3	4	5
⑤ 貴拠点の人手不足を補うため	1	2	3	4	5
⑥ 受け入れた研究開発者の教育訓練のため	1	2	3	4	5
⑦ 受け入れた研究開発者の人的ネットワークを広げるため	1	2	3	4	5
⑧ 貴拠点のマネジメントを行うため	1	2	3	4	5

Q9：**Q7 の②で、実施していると回答（２または３を選択）した企業にのみお尋ねします。**貴拠点から日本に研究開発者を送り出す理由について、以下の各項目はどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる番号（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

貴拠点から日本へ送り出す理由	該当しない １‥‥	２‥‥	３‥‥	４‥‥	該当する ５
①日本の技術を学び、それを貴拠点へ移転するため	1	2	3	4	5
②日本の研究開発・人材マネジメントの方法を学び、それを貴拠点に移転するため	1	2	3	4	5
③貴拠点から日本へ技術を移転するため	1	2	3	4	5
④拠点の立地する地域の市場情報を日本に伝達するため	1	2	3	4	5
⑤日本の人手不足を補うため	1	2	3	4	5
⑥送り出した研究開発者の教育訓練のため	1	2	3	4	5
⑦送り出した研究開発者の人的ネットワークを広げるため	1	2	3	4	5
⑧戦略やマネジメントについて、相談・調整を行うため	1	2	3	4	5

Q10：日本を含む他の海外拠点と連携して研究開発を成功・促進するために、以下の項目をどの程度実施していますか。項目ごとに実施の程度を5段階（実施していない＝１、あまり実施していない＝２、どちらともいえない＝３、やや実施している＝４、実施している＝５）から選択し、該当する番号一つに○をつけて下さい。

実施していない　　実施している
１‥‥２‥‥３‥‥４‥‥５

① 日本と拠点との間で研究開発者のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを密に行う	1	2	3	4	5
② 技術情報をデータベース化し、拠点間で情報共有を促進する	1	2	3	4	5
③ 日本本社に蓄積された技術を活用する	1	2	3	4	5
④ 成功例や失敗例を、グローバルレベルで共有する	1	2	3	4	5
⑤ 日本と拠点との間でグローバル研究開発の方針を共有する	1	2	3	4	5
⑥ 世界中の拠点から必要な人材を選抜して、プロジェクト・チームを組織する	1	2	3	4	5
⑦ 研究開発プロジェクトの編成において、研究領域の異なる人材の組み合わせを重視する	1	2	3	4	5
⑧ 海外での長期滞在経験者を海外との調整役として活用する	1	2	3	4	5
⑨ 日本から研究開発者を派遣してもらう	1	2	3	4	5
⑩ 研究開発者の国籍を多様化する	1	2	3	4	5
⑪ 各拠点においてその地域の文化・慣習に合わせたマネジメントを行う	1	2	3	4	5
⑫ 優秀な研究開発者を確保する	1	2	3	4	5

Q11：研究開発者の処遇等について、以下の各項目は貴拠点にどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

該当しない　　該当する
１‥‥２‥‥３‥‥４‥‥５

① 人事評価では、ﾌﾟﾛｾｽよりも結果が重視されている	1	2	3	4	5
② 人事評価では、個人よりもﾁｰﾑ・組織業績が重視されている	1	2	3	4	5
③ 評価結果によって大きな報酬格差がつけられている	1	2	3	4	5
④ 人事評価の結果や研究のアイデアに応じて、研究開発者に資金等のﾘｿｰｽを配分している	1	2	3	4	5
⑤ 成果をあげた研究開発者には、個人の自由な発想に基づく研究開発を行う時間の自由を与えている。	1	2	3	4	5
⑥ 職務発明のｲﾝｾﾝﾃｨﾌﾞとして発明者に報奨を与えている	1	2	3	4	5
⑦ 日本の拠点と同一の評価システムが使われている	1	2	3	4	5
⑧ 現地研究開発者の人事ﾃﾞｰﾀを日本本社が一括管理している	1	2	3	4	5
⑨ 日本への派遣経験がある研究開発者は高く評価されている	1	2	3	4	5
⑩ 現地採用の研究開発者は経営幹部に昇進しにくい	1	2	3	4	5
⑪ 研究開発者の専門職ﾗﾀﾞｰと管理職ﾗﾀﾞｰが分かれている	1	2	3	4	5

Q12：貴拠点での研究開発者の採用および人材育成について、以下の各項目はどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

該当しない　　該当する
１‥‥２‥‥３‥‥４‥‥５

① 日本勤務を担当できる研究開発者を採用している	1	2	3	4	5
② 社内のグローバル統一基準に基づいて採用している	1	2	3	4	5
③ 採用の際に、協調性を重視している	1	2	3	4	5
④ 採用の際に博士号を持っていることを重視している	1	2	3	4	5
⑤ 採用の際に過去の研究開発の経験や成果を重視している	1	2	3	4	5
⑥ 日本本社の研究開発の進め方（段取りや情報共有の仕方など）を継承するための教育訓練（OJT 含む）を行っている	1	2	3	4	5
⑦ グローバルに活躍できる経営幹部候補者を社員の国籍や勤務地を問わずに選抜し、教育訓練を行っている	1	2	3	4	5
⑧ グローバルに活躍できるリーダーを育成するための研修が充実している。	1	2	3	4	5
⑨ 各ポジションの詳細な職務記述書を作成して採用や教育訓練などを行っている	1	2	3	4	5

Q13：研究開発において、日本や他の海外拠点と連携することにより以下の項目をどの程度達成できましたか。各項目についてあてはまる達成度（達成できなかった＝１、あまり達成できなかった＝２、どちらともいえない＝３、やや達成できた＝４、達成できた＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

達成できなかった　　達成できた
１‥‥２‥‥３‥‥４‥‥５

① 知識や技術の共有化	1	2	3	4	5
② 異なるアイデアやものの見方の導入	1	2	3	4	5
③ 分業による時間短縮	1	2	3	4	5
④ 研究開発者の不足の解消	1	2	3	4	5
⑤ 研究開発コスト（人件費、不動産支出など）の削減	1	2	3	4	5
⑥ 有能な人材のグローバル活用	1	2	3	4	5
⑦ グローバルに活躍できる研究開発者の育成	1	2	3	4	5
⑧ 海外市場の拡大	1	2	3	4	5
⑨ 事業規制の回避や優遇措置の活用	1	2	3	4	5

Q14：以下の研究開発の成果について、貴拠点での 2012 年度実績を記入して下さい。ただし、該当する成果がない場合は「0」を記入して下さい。

新製品（含新型モデル）のリリース件数	件
拠点単独の特許出願数	件
日本拠点と共同の特許出願数	件
日本以外の拠点と共同の特許出願数	件
英文学術論文数	件
研究開発チームや研究開発者が外部から受けた表彰の件数 （例：学会や業界団体からの表彰）	件

Q15：2012 年度における貴拠点の研究開発の中で、以下の各項目はどの程度実現できましたか。各項目についてあてはまる程度（実現できなかった＝１、あまり実現できなかった＝２、どちらともいえない＝３、やや実現できた＝４、実現できた＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

	実現できなかった 1	2	3	4	実現できた 5
① 顧客満足度の高い製品や品質向上につながる研究開発	1	2	3	4	5
② 研究開発プロセスについての経費削減	1	2	3	4	5
③ 予算内の研究開発	1	2	3	4	5
④ 計画したスケジュール通りの研究開発	1	2	3	4	5

最後に、会社名を記入して下さい。また、差し支えなければ、アンケートに回答した方の所属部署と連絡先も記入して下さい。本調査の集計結果をご希望の場合は、郵送致しますので以下に○をつけて下さい。

集計結果の郵送希望	有　・　無
会　社　名 (必須)	
所 属 部 署	
連　絡　先	TEL:　　（　　） E-mail： ・アルファベットと数字の区別がつくように（ゼロ 0 と o,　9 と p など）記入して下さい。 ・ - （ハイフン）、　_（アンダーバー）の区別がつくよう記入してください。

ご協力どうも有難うございました。